

# 南 二 小 だ よ り

## スマホを与えることに関しての親の責任

校長 隅田 克思

本日、本校の第2学期は終業式を迎えました。うれしい結果も、残念だったことも、全力で取り組んだ結果として、子供たちには、「よく頑張ったね。」と伝えました。もちろん、これからの「伸びしろ」が子供たちにはたくさん詰まっています。私たち教師は、指導を通して、励まし、諭し、その可能性を膨らませる役割を担っています。例えば、本日お渡しした『あゆみ』の評価ですが、仮に「もうすこし」の項目があったとしたら、それは、お子様本人の現状での課題であると同時に、指導者としての教師の課題でもあります。ですから、3学期は今年度最後の頑張りどころとして、子供たちと教師が二人三脚で取り組んでいくことで目標に向かっていきたいと思っています。お子様へのご家庭からの励ましもどうぞよろしくお願いいたします。

さて、冬季休業を迎えるにあたって、僭越ながら一つ保護者の皆様にお願ひがあります。学校の目が届かなくなる期間が故の心配です。それは、生活面、特に、SNS等を通じての子供たち同士の関係についてです。そのことについて、できるだけ『客観的な把握』をしていただきたいのです。いまや、小学生が端末を手にするのは珍しいことではなくなりました。しかし、その実態の中に放っておけない部分があることも感じています。例えば、SNS等を舞台とした「いじめ」や「仲間外れ」が起きてはいないかという点です。特に、チャットやトークでは、顔が見えないことも手伝って、つつい言葉がエスカレートしやすく、トラブルも珍しくありません。お子様が、「いつ、誰とどんなやりとりをしているのか」、「誰かをからかったり、仲間外れにしたりされたりして、相手を傷つけたり、互いに傷つけ合ったりする『場』になっていないか」、「個人の特定につながる発信をしていないか」、「見知らぬ相手とのやり取りで危険に直面していないか」等、ぜひチェックをお願いします。子供たちに通信機器を与えることによって起こることへの責任は保護者にあります。この冬休み中に、再度ルールやマナーについて話し合ってください。その際には、実際のやり取りの画面等を直接確認し、必要な設定を施していただければと思います。子供にもプライバシーがあるのは当然ですが、買ひ与える時点の約束として、「親に見られてまずいことはしない、させない」は「必須」ですね。そして、何かよからぬことを見つけたとして、仮にお子さんが、「自分は悪くない。」と誰かのせいにしてもそれを鵜呑みにするのは要注意です。子供にとって大切なことはこの出来事からそもそもの心構えや影響力の大きさを学びとらせることです。そのためにも、保護者の方にはあくまでも客観的な事実即した対応に徹していただきたいのです。事実を冷静に受け止め、しっかりとその「行為」の問題点を指摘し、諭すことが大切です。そして、「どうすべきだったのか」をお子さんと一緒に考えていただけたらと思います。また、保護者間での連携により、互いの情報を突き合わせることも有効です。誰もが明るい気持ちで3学期を迎えられることを強く願っています。「便利なもの」ほど「怖いもの」だということをお忘れなく。

学期末になって、インフルエンザが流行し始めました。現在体調を崩しているお子様や保護者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。ご家庭に持ち帰っていない「あゆみ」やお子様の持ち物は、冬季休業中(土・日および12月28日~1月3日を除く)午前8時半から午後4時40分までに職員室へお越しくださいませお渡しいたします。その際には、事前にご一報いただくと準備がスムーズです。元気な状態であれば、お子様でも差し支えありません。道中、車にはお気を付けてください。今年もお世話になりました。皆様のご多幸を心よりお祈りいたしております。よいお年をお迎えください。

### 子供ネットトラブル

